

第4学年 国語科学習指導案

学 級 4年1組 男子15名 女子14名 計29名

場 所 4年1組教室

授業者 及川 猛

- 1 単元名 心に残った物語のおもしろさを伝え合おう
教材名 「プラタナスの木」 椎名誠（光村図書4年下）

2 単元について

(1) 教材について

本単元は、学習指導要領第3学年及び第4学年の「読むこと」の指導目標「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる」と、「読むこと」の指導事項「ウ場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと」と指導事項「オ文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと」を受けて設定された単元である。本単元では、「物語の心に残るおもしろさについて、感想を伝え合ったり、疑問に答え合ったりする」という言語活動を設定する。

同系列の4年生の単元では、1学期に「白いぼうし」において、登場人物の性格や気持ちを想像しながら読み、登場人物の人柄をまとめる学習をしている。また、「一つの花」では、叙述に基づき、場面の移り変わりを捉えながら読む学習を行った。

本教材は、登場人物が、おじいさんの話とプラタナスの木がなくなったことによって、自然に対する思いや考え方が変わって成長する物語である。児童と同じ4年生であることから、人物に共感したり、同じ目線で想像を広げて読んだりできる作品である。

(2) 児童について

本学級の児童は、物語を意欲的に読み、感想をもつことができる児童が多い。しかし、物語を読んだ感想や疑問での友達との違いに気づき、その違いは着目する叙述や経験が関係しているところまで理解している児童はほとんどいない。

ペア学習やグループ学習では、感想を積極的に交流できる。また、積極的に発言し、自分の考えをもちながら学習することができる児童が多い。しかし、交流したことや自分の考えを分かりやすく伝える力は、まだ不十分である。

(3) 指導について

本単元では、学習のゴールとして、「物語の心に残るおもしろさについて、感想を伝え合ったり、疑問に答え合ったりする」という言語活動を位置付ける。そのために、本単元では、まず、プラタナスの木を読んで、心に最も強く残ったことや感じたことを一文でまとめる。それらを友達と交流することを通して、同じ物語を読んでもその感想には違いがあること、感想の違いには着目する叙述や読者の経験が関係していることに気付くようにさせる。

一次では、これまでに国語の学習で読んだ物語について振り返り、心に残った場面が異なることや同じ場面でも心に残った理由が異なることを明らかにさせる。この学習を通して、感想は一人一人違ってもよいのだという実感をもてるようにさせ、物語を読んで感想を伝えてみたいという意欲を高める。

二次では、場面の移り変わりや登場人物の気持ちなどに着目させ、物語のおもしろさを見付けられるようにさせる。場面と場面とを関連付けて読ませたり、登場人物のプラタナスの木に対する思いの変化を考えて読ませたりすることで、自分の心に残った場面やその場面についての感想を明確にさせていく。その際、みんなと読み合ったら、もっとおもしろさを味わえると感じられるところを見付けさせたり、友達がどの場面にどのような感想をもっているのかを発見させたりする活動を設定する。

三次では、同じ場面を選んだ友達と感想を交流させる活動を通して、一人一人の感じ方について違いがあることに気付くことができるようにさせる。また、こうした違いからくる物語を読むおもしろさを実感できるようにさせる。

3 単元の目標と評価規準

観点	目標	観点	評価規準
国語への 関心・意欲・態度	・物語の心に残ったところについて、 感じたことや考えたことを、根拠と なる叙述を基に交流しようとする。	国語への関心・ 意欲・態度	・物語を読み、心に残ったところに着目 しながら互いの感想を伝え合おうとし ている。
読むこと	・場面の移り変わりに注意しながら、 登場人物の性格や気持ちの変化、情 景などについて、叙述を基に想像し て読むことができる。(ウ) ・文章を読んで、考えたことを発表し 合い、一人一人の感じ方について、 違いのあることに気付くことがで きる。(オ)	読む能力	・自分の感想の根拠を明らかにするた めに、場面の移り変わりや登場人物の気持 ちの変化に着目して読んでいる。 ・感想を友達と交流し、一人一人の感じ 方について違いがあることに気付いて いる。
伝統的な言語文化 と国語の特質に関 する事項	・言葉には、考えたことや思ったこと を表す働きがあることに気付くこ とができる。(イ(ア))	言語についての 知識・理解・ 技能	・言葉には、考えたことや思ったことを 表す働きがあることに気付いている。

4 指導計画 (8時間)

段 階	時	本時の目標	学習課題と主な学習活動	評価規準 観点【 】 方法()
一 次	1	① 同じ作品を読んでも、 読んだ人それぞれに、感 じることやその理由が違 うことに興味をもつこと ができる。 心に残った物語のお もしろさを伝え合おう。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> これまでに国語の学習で読んだ物語 をふり返り、感想を交流しよう。 </div> ・これまでに国語の学習で読んだ物語を振 り返り、心に残った場面を交流する。	・心に残ったことを友達に伝 えることに興味をもち、感想 を伝えてみたいという意欲 を高めている。 【関・意・態】(発言・感想)
二 次	5	② 場面の移り変わりや登 ③場人物の思いに注意して 読み、感想をもつことが できる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 「プラタナスの木」を読んで、感想を 考えよう。 </div> ・場面の移り変わりや登場人物の気持ちの 変化に着目して読み、感想をもつ。	・感想を明確にするために、場 面の移り変わりや登場人物 の気持ちの変化に着目して 読んでいる。 【読ウ】(発言・ノート)
		④ 物語の展開や叙述に着 目して読み、交流したい 疑問や感想を明確にする ことができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 「プラタナスの木」を読んで、友達と 考えてみたいところを決めよう。 </div> ・物語の展開や叙述に着目して読み、友達と 交流したい疑問や感想を明確にする。	・友達と交流したい疑問や感 想をはっきりさせている。 【読オ】(発言・ノート)
		⑤ 前時の疑問について、 叙述や経験を根拠に自分 の考えをまとめることが できる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 感想や友達と考えてみたい疑問の理 由を考えよう。 </div> ・疑問について、叙述を根拠にしなが ら、あるいは経験と重ねて考えをまとめる。	・疑問について、叙述を根拠に したり、経験をもとにしたり して、自分の考えをまとめて いる。 【読オ】(発言・ノート)

		⑥ 感想や疑問を友達と交流し、一人一人の感じ方やその根拠の違いに気付くことができる。 本時	感想や友達と考えてみたい疑問を交流しよう。 ・根拠を明確にして、感想や疑問を友達と交流する。	・一人一人の感じ方やその根拠の違いに気付いている。 【読オ】(発言・ノート)
三 次	2	⑦ 心に残った場面が同じ友達と感想の交流を行い、一人一人の感想の理由に違いがあることを実感できる。	心に残った場面が同じ友達と感想を交流しよう。 ・心に残った場面が同じ友達と感想を交流し、理由に違いがあることに気付く。	・一人一人の感じ方の違いについて、誰のどのような読みと交流して実感したか、はっきりさせている。 【読オ】(発言・ノート) ・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くことができる。 【言イ(ア)】(発言)
		⑧ 物語を読み返し、新たに気付いた解釈や友達の読みのよさを確かめることができる。	友達と交流したことをふり返り、学習のまとめをしよう。 ・改めて本文を読み返し、一人一人の感じ方が違うことや友達の読みのよさを確かめる。	・一人一人の叙述への感じが違うことが分かり、そのおもしろさに気付いている。 【読オ】(発言・プリント)

5 本時の指導 (6/8)

(1) 目標

感想や疑問を友達と交流し、一人一人の感じ方やその根拠の違いに気付くことができる。

(2) 評価と支援

評価の観点・評価規準	期待する児童の記述例	努力を要する児童への支援
【読む能力オ】 一人一人の感じ方やその根拠の違いに気付いている。	プラタナスの木が切られたところが心に残っている。友達と交流してみて、～さんは～と感じていることが分かった。また、どうしておじいさんが公園に来なくなったのか疑問だったけれど、～さんに答えてもらって納得できた。	教科書の本文を読ませ、どこの叙述からそう感じたのかを確かめさせる。また、うまく交流できない児童には、話型を確認させる。

(3) 研究とのかかわり

【学び合いを深める工夫】

- ・友達と交流する際に、自分の感想やその根拠、疑問がより伝わるようにするために、教科書の叙述を指し示して交流させるように発問する。

【表現する力を高める工夫】

- ・前時まで一人一人の感想や疑問をカードに書かせ、教室に掲示しておき、感想や疑問をはっきりさせ、誰とどのような話をしてみたいかを決めさせておく。
- ・友達と交流した内容を全体で交流させることにより、どのように表現すれば友達によく伝わるかを確認させる。

(4) 展開

段階	学習活動	予想される児童の反応	・指導上の留意点 ◇ 評価 ○研究内容との関わり
とらえる 5分	<p>1 課題を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時は、友達と交流する時間であることを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">感想や友達と考えてみたい疑問を交流し、自分の考えを深めよう。</div> <p>2 見通しをもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時までに考えた感想やその根拠となる叙述、本時で明らかにしたい疑問を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この場面が心に残っている。 ・～さんと同じところだ。 ・～さんに聞けば分かりそう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までの一人一人の感想や疑問をカードに書かせ、教室に掲示しておき、どの友達と交流するとよいかを確認させておく。 ・前時までに考えてきた感想や疑問を振り返らせ、感想を聞いてもらいたい、疑問をもつとはっきりさせたいという意欲を高めるようにさせる。 ・教室に掲示してあるカードを数枚紹介し、見通しを持たせる。 <p>○前時までに一人一人の感想や疑問をカードに書かせ、教室に掲示しておき、感想や疑問をはっきりさせ、誰とどのような話をしてみたいかを決めさせておく。</p>
たしかめる 35分	<p>3 自分の考えをもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流の仕方や視点を理解する。 <p>4 学び合いをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感想を伝え合ったり、疑問について友達と考えたりする。 ・各グループで交流した内容を全体に発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この場面が心に残ったんだけど、(教科書の)この部分にこう書いてあるからそう思うんだ。 ・そんな理由もあるんだね。気が付かなかったけど、おもしろいね。 ・この場面で、どうしてこれをしたのかよく分からないんだけど。 ・～さんにも聞いてみようか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理由も付けて話したり、疑問を友達に聞いてみたりすると、交流が深まることを説明する。 ・交流の視点は、「一人一人の感じ方の違いを知る」と「自分の疑問を明らかにすることであることを伝える。 <p>○友達と交流する際に、自分の感想やその根拠、疑問がより伝わるようにするために、教科書の叙述を指し示して交流させるように発問する。</p> <p>○友達と交流した内容を全体で交流させることにより、どのように表現すれば友達によく伝わるかを確認させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流後には、さらに詳しく考えてみたところやまだはっきりしない疑問を付箋紙に書かせておく。
まとめる 5分	<p>5 まとめる<評価Bの文例></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>プラタナスの木が切られたところが心に残っている。友達と交流してみて、～さんは～と感じていることが分かった。また、どうしておじいさんが公園に来なくなったのか疑問だったけれど、～さんに答えてもらって納得できた。</p> </div> <p>6 振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習で分かったことや感想を書く。 ・次時の学習の見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・～さんに聞いて、自分の疑問が解決できてよかった。みんなの感想やその理由が違うことが分かった。 	<p><評価規準></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>一人一人の感じ方やその根拠の違いに気付いている。</p> <p>【読才】(発言・ノート)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・B評価に達している児童には、だれのどういう意見で、そう思ったのかを振り返させる。